

News Release

## 日本工営エナジーソリューションズ ベルギーで新たに合計100MW/250MWhの系統用蓄電所の建設を開始 ～同国で計3件の系統用蓄電所事業を通じ、脱炭素社会の実現に貢献～

ID&Eホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明）傘下の日本工営エナジーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：横田裕史、以下「日本工営エナジーソリューションズ」）は、ベルギー国フランダース地方Ruienで運用中の系統用蓄電所に続き、このたび、同地域近隣に新たに2件の系統用蓄電所を建設し、事業を拡張することをお知らせします。

### 1. 背景と目的

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大が欧州をはじめ世界規模で進んでいます。近年では、気候条件により発電量が急変する太陽光・風力発電所の増加が問題になりつつあり、系統用蓄電池を活用した事業は、電力システムの安定化を図る手段としてニーズが拡大しています。

この市場環境を踏まえて、日本工営エナジーソリューションズは、2017年よりエネルギー市場が先行する欧州で蓄電池事業を展開してきました。2018年にはベルギーでSPC（特別目的会社）の Ruien Energy Storage NV.（以下「RES 1」）を設立し、系統用蓄電所の建設に着手、2023年3月に運転を開始しました。

今回、新設する2か所の蓄電所は、共同事業者としてベルギー企業3社(Aspiravi, Ecopower, Beauvent)<sup>※1</sup>から成る連合体が参画します。SPCであるRuien Energy Storage 2 BV.（以下「RES 2」）およびRuien Energy Storage 3 BV.（以下「RES 3」）を通じて、2026年4月より蓄電所の建設に着手し、2027年後半の運用開始を目指します。運用中のRES 1と今回、建設するRES 2、RES 3で合計出力は約125MW/350MWhとなり、ベルギー国内でも有数の蓄電所群となる予定です。

<sup>※1</sup> 3社はいずれも市民または自治体が株主となる地域参加型の再生可能エネルギー投資会社であり、再生可能エネルギー拡大を通じた脱炭素社会の実現に向けて活動するベルギー企業です。



5月6日に行われたRES 2、RES 3起工式

## 2. 系統用蓄電所の概要

日本工営エナジーソリューションズ傘下で、欧州におけるエネルギー事業を担うNippon Koei Energy Europe B.V. (本社：オランダ ロッテルダム CEO: Wesley Stam) が、RES 2およびRES 3の投資、計画、開発、施工監理ならびに維持管理を行う予定です。

名称	Ruien Energy Storage 2 (RES 2)	Ruien Energy Storage 3 (RES 3)
出力/容量	75MW/150MWh	25MW/100MWh
所在地	ベルギー国フランダース地方Ruien 旧石炭火力発電所跡地	
運転開始日	2027年9月（予定）	

## 3. 今後の展望

本プロジェクトを通じて電力システムの安定化をはかり、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。今後は、引き続き欧州で事業拡大すると共に得られた知見を日本・アジアで活用し、安全・安心な社会基盤の整備と持続可能な社会の実現につなげてまいります。

また、系統用蓄電所に留まらず、幅広く蓄電池を有効活用したエネルギーの有効活用を目指し、2050年のカーボンニュートラル達成に向けて事業を拡大していきます。

参考：上記以外の当社グループにおける欧州で稼働・建設中の蓄電所

名称	RES1	Tollgate	Cuxton
出力/容量	25MW/100MWh	50MW/50MWh	50MW/50MWh
所在地	ベルギー	イギリス	イギリス
状況	2023年～運用中	2023年～運用中	建設中

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>